



K14072

2.12

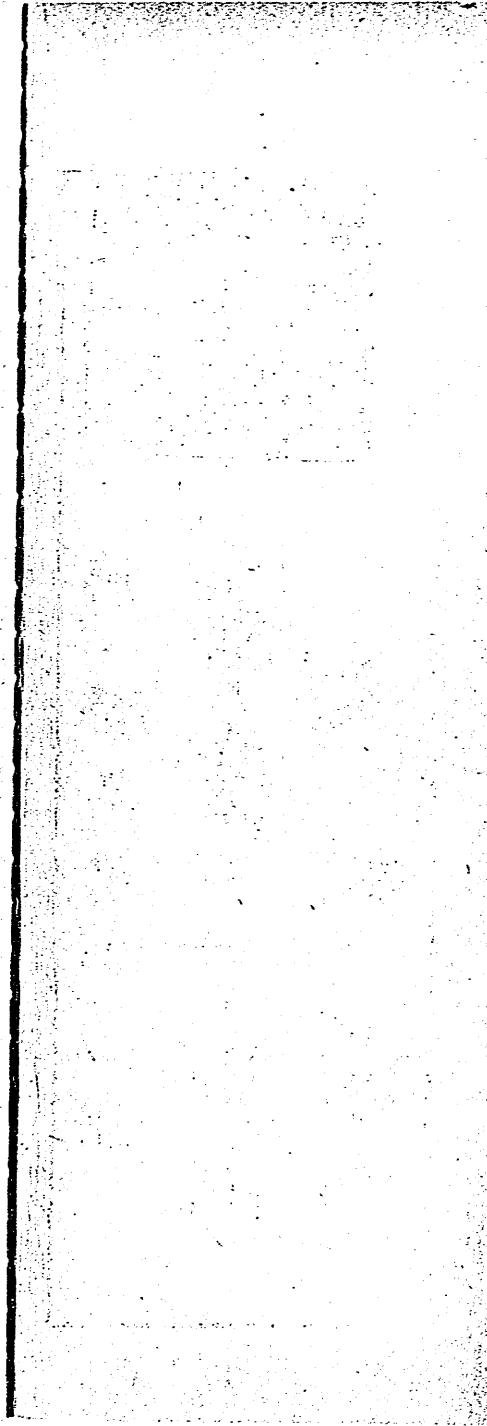
1 上 b

~~禁~~

高等小學書字方手本

第一學年用上乙種

文部省



豐華原瑞德國寶

祚之隆天壤無窮。

秋の日は山の端を暮れぬ間に
母に見えなん歩め我が駒。

埋火のあたりのどかにはらから
まとふせし夜を遡りかりける。

朋友。仇敵。利害。談。

五

高乙上

笑。歡樂。富貴榮華。

六

高乙上

故郷の墓はしきは祖先墳墓の地にして我が幼時嬉戯せし處なればなり。祖先幾代歿々に生活しゆく此處に眠れどと思へば此の山河も自ら情あり。

我が嬉戯せし幼時の樂しき記憶をおもひ起せば木石亦知友の感なくんばあらず。況や父母妻子兄弟姉妹親族故舊の我を待つあるに於てをや。

御中城の儀隊を改進早速先方へ聞令の

九

上當方より何の立候様かよぐべひ不一

萬之上

智と徳とは兩つながら備へざるべからず。才學ありとも心下劣にして行賤しければ人の尊敬を

受くること能はず。いかでか世を指導するを得んや。學を修むるものには亦必ず其の徳を磨くべし。

十三

島津毛利長曾我

高云上

部加藤藤堂京極

十四

矛盾槍雜刀甲冑

銃劍空中飛行機

對馬津輕宗谷舞

十七

高云上

鶴敦賀浦潮斯德

十八

高云上

英吉利獨逸佛蘭

十九

西露西亞伊太利

高上

二十

露おかぬ方もありけり夕立の空よりひるま

武藏野の原。我がほは松原でま海近く

富士の高根を軒端にぞ見る。急がずばぬれ

ざらましを旅人のあとより霽き野路の村雨。

半紙半帖。扇子一對。屏風二雙。掛物三幅。木杯一組。金子壹封。證書。

貳通株券參枚。手拭一筋。足袋二足。吸物椀二十人前臺所道具一式。

資本流动固定生

二十五

高云上

產營利規模擴張

二十六

高云上

野卑溫雅寡言多

二十七

辯沈默應答抑揚

高乙上

二十八

巧言令色鮮し仁君子は言に讷にして行に敏ならんことを欲す己の

欲せざる所人に施す勿れ。河海は細流を擇ばず故に能く其の大を成す。

病菌傳染隔離治

三十一

高乙上

瘡。消毒。豫防。往痘。

三十二

高乙上

秦築長城比鐵牢
蕃戎不敢過陰洮

焉知萬里連雲勢。
不及堯階三尺高。

唯今到着候凡そ一因間位満
在の筈には座をひづれその中より

常例の件委細は語や上度と
存居の取扱へず由報までまく

龐濤。克己。忍耐。道。

讓。悅。順。嚴。極。樂。成。

K 40072-2.12
-158



大大大
正正正
三三三
年年年
十十十
二二二
月月月
廿廿廿
五四五
日日日
翻刻正
行印發
刷行刷

著作權所有

手本第一學年用上乙種
高等小學書方

定價金參錢

大正三年十二月十六日
文部省檢查濟

著者
發行者
篆

香川部
藏

右東京市日本橋區新番地
十六號門町印刷所

篆印發行
代表者
三木佐助

大阪市南區浪花原町千百八十八番地九
大阪書籍株式會社

大坂書籍株式會社工場

發賣所

